MF－4668 パワーアラーム
リモコンの取扱いと電波障害について

弊社製品をご購入いただき誠にありがとうございます。
MF-4668 パワーアラームにおいて、電波障害の影響と思われる具体的な現象が確認されましたのでお知らせ致します。

◇具体的な現象

リモコンのバッテリーが通常はフル充電で約72時間保つ仕様ですが、12 時間から 48 時間程度でバッテリー切れを起こす。（アラームの機能として誤作動が起きることはございません）

◇原因

本製品は429MHz帯の特定小電力無線機となっており、トランシーバーのようにリモコンとアラーム本体との間で相互通信を行っております。
パワーアラームの本体もしくはリモコンが外部からの特定な電波を受けると、リモコン～本体間の通信回線が動いてしまい、リモコンのバッテリーの消耗が早くなってしまうと考えられます。通信回線が動いた状態のリモコンの消費電流は通常の待機状態と比較して5倍程度となります。（回線が動いただけの状態は液晶表示では判別できません）

現在、考えられている電波障害の原因は下記の通りです。

1. 自衛隊、米軍、民間航空の飛行場からの航空無線。またはそれらの航空機からの航空無線。

2. 他のセキュリティーアラーム、リモコンシャッター、水位管理システムなど429MHz帯（もしくは近い周波数で出力が強い電波）を使用した機器が本体（オートバイ）やリモコンの近くにある。

◇上記の症状が出る場合の対策

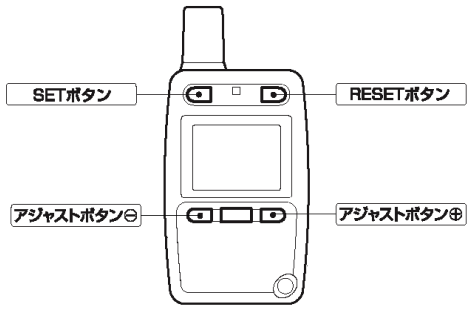
電波障害は特定の場所や環境によって起こる為、現象がご自宅付近で出る場合はリモコンを常にACアダプターに接続してご使用頂く必要がございます。ただしチャンネル（セットアップモードで選択する①②③の3種類）を変更することにより改善されるケースもございますので先ずは試してみてください。チャンネルの変更方法は取扱説明書の「6. リモコンについて→⑦セットアップ及びチャンネルの変更」をご参照ください。

◇誤作動について

パワーアラームは100万通り以上のIDコードによって動作しますので、電波障害によって回線が動いてもアラームの機能として**誤作動を起こすことはございません。**

◇その他 リモコンの取扱いについて

・誤ってセットアップモードを行ってしまいセットアップエラー（リモコン表示の①②③が点滅）が発生した場合は、リモコンのSET、RESET、アジャストボタン、アジャストボタンの4つのボタンを同時に押すことにより復帰させることができます。



・オートバイのキーと一緒にキーホルダーに装着してご使用されますとリモコンがトップブリッジ等に接触し誤操作や故障の原因となりますのでご注意ください。また万が一キーホルダーを紛失した場合、オートバイのキーとリモコンが他人に渡ってしまいセキュリティー上危険です。リモコンはオートバイのキーとは別にしておくことをお勧めいたします。

タナックス株式会社

022080

MF－4668 パワーアラーム
リモコンの取扱いと電波障害について

・走行時は誤操作の防止やバッテリーの節電のためにリモコンの電源をOFFにすることをお勧めいたします。

タナックス株式会社

022080